

宗像市議会

議長 神谷 建一 様

予算第1特別委員会

委員長 岩岡 良

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

記

第88号議案 令和4年度宗像市一般会計補正予算（第5号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6億9,985万6千円を増額し、432億5,419万1千円とする。また、繰越明許費、債務負担行為、地方債の補正を行う。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

1 歳入の主なもの

- (1) 課税対象である償却資産が当初見込みよりも多かったため、固定資産税を1億2,000万円増額する。
- (2) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を2億4,533万5千円増額し、物価高騰対策等の財源として活用する。
- (3) 財政調整基金繰入金を320万5千円増額し、ふるさと基金繰入金を5,944万7千円増額する。

2 歳出の主なもの

- (1) 物価高騰対策に係る事業費の増額
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源に、福祉施設や事業者等に物価・燃油高騰対策として支援金を給付する。
 - ①地域路線バス事業継続支援金給付事業費の計上（672万円）
 - ②高齢者施設等物価高騰対策支援金給付事業費の計上（4,977万1千円）
 - ③障害福祉サービス事業所等物価高騰対策支援金給付事業費の計上（2,180万7千円）
 - ④教育・保育施設型給付事業費のうち保育所等物価高騰対策費補助金の計上（717万2千円）
 - ⑤農業振興事業費（燃油高騰対策支援補助金）の増額（123万4千円）
 - ⑥水産業振興事業費（燃油高騰対策支援補助金）の増額（1,800万円）
 - ⑦緊急経済支援事業費（運送事業者等燃油高騰対策支援）の計上（3,694万6千円）
- (2) 脱炭素社会推進事業費の増額（200万円）
使い捨て容器におけるプラスチックの減量策として、飲食物の宅配またはテイクアウト等を行う事業者に対し、テイクアウト容器等プラスチック代替品導入支援補助金を交付する。
- (3) GIGAスクール推進事業費のうち大型モニター購入費の減額（7,730万6千円）
大型モニターの設置機種・台数について学校と協議し、精査した上で入札した結果、契約金額が予算額を大幅に下回ったため減額する。

(4) 県立特別支援学校誘致事業費の増額（7,700万円）

令和3年度から進めている造成工事において、次の要因で予算額の不足と工事期間の延長が生じるため、造成工事費の増額と繰越明許費を計上する。

①工事工程の見直し、安全対策の追加による造成費の増

用地の造成は、掘削した土砂をダンプトラックに直接積み込む方法を想定していたが、現場の状況や安全に配慮した結果、土砂を上部から下部へ移し、積込場所まで移動させて積み込む方法に変更したため、費用が増加した。また、調整池の建設を進める際に、近接する大学通路の安全性を高めるため、安全対策を追加した。

②地下埋設物の対応・根株処分費の増

土を掘削した際、図面にはない配管類があったことから、下水敷設替のルートや工程の見直しが生じた。また、既存擁壁を撤去する際、地下埋設部分に基準を超える基礎の存在が判明し、掘削や処分にかかる費用が増加した。

③樹木伐採処分費の増

再資源化する伐採木が想定よりも減り、その分の処分に要する費用が増加した。

④物価高騰

3 繰越明許費

年度内に事業の完了が見込めず、翌年度に予算を繰り越す必要がある6件を追加する。

4 債務負担行為

次年度以降に予算を必要とするものの、今年度中の契約などで、予算の担保が必要となる事項など40件を追加する。広報紙印刷費では、令和5年度から広報紙について自治会を通じての配布からポスティングによる全戸配布に移行する。令和5年度は、調整のできたコミュニティからポスティングに移行し、残りのコミュニティについては、自治会配布を継続しながら、令和6年度に向け全戸配布についての協議を行う。また、令和5年5月からは1日号と15日号を統合し、内容の充実を図る。

5 地方債

水産業振興事業と漁港整備事業について、地方債を追加する。また、地方債の変更を3件行う。

【意見】

(賛成意見)

- ・歳入における市税の増加は、住宅都市としての施策や企業誘致等の効果が出てきた結果と考える。地方創生臨時交付金を財源に、今まで十分に行き届いていなかった事業に支援を行ったことを評価する。県立特別支援学校誘致事業費の増額については、工事を期限内に完了させて開校につなげ、付加価値を最大限に上げられるよう尽力してほしい。また、今後は、今回のようなイレギュラーが起きても対応できるように対策を検討してほしい。
- ・物価高騰対策については、多分野での対応を高く評価する。脱炭素社会推進事業については、補助金だけでなく、市全体の二酸化炭素削減に向けてマイバッグやマイ容器など様々な手立てを市民に発信してほしい。GIGAスクール推進事業については、むなかた子ども大学のように人との触れ合いもセットにしながらか像版を構築してほしい。県立特別支援学校誘致事業については教育大の学生が間近で学べるという大きな価値があると考えているが、造成については最大限の想定をし、特別支援学校が1日も早く宗像に根付くようお願いしたい。
- ・脱炭素社会推進事業については、再生プラスチックや紙木等の代替品であったとしても結果的に焼却するならば二酸化炭素削減にはつながらないと考えているため、リユース容器の使用促進によって焼却を減らす視点も必要だと考える。物価高騰対策の中でも運送事業者等燃油高騰対策支援金について高く評価する。県立特別支援学校誘致事業については、本市の教育全体の質の

向上になることを強く願う。

- ・ 県立特別支援学校誘致事業については、すでに動き出しており止めることはできないが、業者の言い分を丸のみにせず、行政と議会のチェック機能を果たしていかなければならない。

(反対意見)

- ・ 物価高騰に対し多分野に支援をすることは評価したい。県立特別支援学校誘致事業費の増額要因については、測量調査が妥当だったのか、調査時に予測ができなかったのかという点で納得できない。本来なら、正確な測量調査、基本設計、実施設計を行い、当初から予算に反映し、計上すべきだったと考える。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で原案のとおり可決した。

第 94 号議案 令和 4 年度宗像市一般会計補正予算（第 6 号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 1 億 3, 2 6 7 万円を増額し、4 3 3 億 8, 6 8 6 万 1 千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 国の方針に基づき、妊婦や子育て家庭への伴走型相談支援及び経済的支援を一体的に実施するため、出産・子育て伴走型支援事業費を計上する。令和 4 年 4 月以降に出産した人を対象とし、妊娠届出時には出産応援ギフトとして妊婦 1 人当たり現金 5 万円、出産時には子育て応援ギフトとして子ども 1 人当たり現金 5 万円を支給する。
- 2 事業開始日以降は妊娠届出時、出生届出後にそれぞれ面談を実施した上でギフトを支給し、事業開始日前の妊娠届出と出産に係るギフトはアンケート等を実施した上での支給となる。
- 3 財源は国庫補助 3 分の 2、県補助 6 分の 1、市負担 6 分の 1 である。なお、システム構築等導入経費については全額国庫補助である。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。